公明党 KOMEITO

大阪府議会議員 大東市・四條畷市の街づくり

うつみ久子 コスモス通信

府政だより No.165
令和8年秋号



発行者＝大阪府議会議員 内海久子　大東市野崎1-17-45-107　TEL: 072-812-2487 / FAX: 072-812-2894 http://www.utsumihisako.com

府議会で取り上げました　9月定例議会　警察危機管理常任委員会

防災に女性の視点を！

府防災会議の女性委員30%をめざして

災害への備えに多様な視点を反映するため、うつみ久子府議は、これまでも府議会で女性委員の登用を繰り返し求めてきました。大阪府防災会議の女性委員比率は、令和7年12月の17.5%（11人）から、令和8年9月には24.6%（16人）に上昇しています。今回の委員会では、女性委員のさらなる登用と、その意見を防災施策に反映する仕組みについて質問。府は、女性の推薦依頼や、女性委員等の課題意識を把握・反映する取組みを継続し、女性委員比率30%の達成をめざすと答えました。



9月8日 警察危機管理常任委員会で質問するうつみ久子

大阪府防災会議の女性委員比率

令和7年12月 17.5%（11人） → 令和8年9月 24.6%（16人） → 目標 30%

誰一人取り残さない防災へ。
女性の視点をさらに
反映していきます。

避難所の生活環境をより良く！

スフィア基準(※)の活用と体験型訓練の充実へ

「スフィア基準」の考え方を取り入れ、避難所における飲料水・トイレ・居住スペースなどの生活環境の確保を進めるよう、大阪府の対応を質問しました。

炊き出しセットを用いた訓練

今年度計 14市町村　計24回 実施予定

今年度、四條畷市を含む14市町村で計24回実施予定。府は避難所環境の改善に取り組むと答弁。

府の答弁

市町村と意思疎通を図り、現場の状況を踏まえて民間企業やボランティア等と協力して取り組む。



大東市防災訓練に参加

スフィア基準とは？

飲料水・トイレ・居住スペースなど、災害時の避難生活における国際的な最低基準です。

防犯カメラの活用と設置支援

安全・安心のまちづくりを

府警は、防犯カメラリレー捜査を有用と評価。設置補助については、犯罪情勢や地域の実情、市町村の意見を踏まえ、支援の在り方を検討することも考えると答弁しました。



警察官の熱中症対策

安全に職務を遂行できる環境を

夏場に勤務する警察官の熱中症対策を質問。府警は、快適に着用できる冷却服等の開発を引き続き進めると答えました。



性犯罪・性暴力被害者への支援　相談しやすく、切れ目のない支援を

「ウィズユーおおさか」の協力医療機関との連携と周知、SNS相談について質問。府は駅構内でのポスター掲示等を実施し、小学生向けポスターを制作中と説明。LINE相談は運用開始に向け準備中と答えました。

府政に関するご相談はお気軽にどうぞ！
うつみ久子府政相談所　大東市野崎1-17-45-107
TEL: 072-812-2487 / FAX: 072-812-2894

SNS発信中！

公明党
令和8年 秋号
Komei Osaka Prefectural Assembly News

大阪府議会ニュース

発行／公明党大阪府議会議員団
〒540-8570 大阪市中央区大手前2-1-22
TEL:06-6941-0286 FAX:06-6942-4060

公明党大阪府議会
議員団ホームページ

災害に強い大阪へ 防災・減災対策の抜本強化を！

結婚・子育て支援の充実や教育の質向上を推進

令和8年9月定例会で中野剛議員（政調会長・茨木市選出）が代表質問



▲代表質問する中野剛議員

公明府議団は9月28日の代表質問で、防災対策や地域医療、子育て・教育支援、賃上げなど府政課題を質疑。現場の声を踏まえ、府民の命と暮らしを守る施策の着実な推進を強く求めました。
主な質疑内容は以下のとおりです。

▶避難所の環境改善へ「**トイレカー**」等の災害対応車両の増強を訴え、知事も増強検討を明言。防災庁の地方機関「防災局」の大阪誘致や「**河川カメラ**」の増設や「**アンダーパス**」冠水対策の強化を提案

▶結婚支援「**なにわ縁結び**」の利用負担軽減や、市町村への支援が全国最低レベルの府の乳幼児医療費助成制度を拡充すべき

▶不登校支援へ小学校の「**スクールカウンセラー**」の配置を3倍に拡充。また、3年連続定員割れで統廃合の対象とする「**府立学校条例**」の見直しを府に強く求める



▲府所有のトイレカー

皆様の声を実現　公明府議団の主な実績

「いのちと暮らしを守る」― 未来医療・福祉の強化

- 未来医療の国際拠点「**中之島クロス**」整備（令和6年）を推進。
  iPS細胞「心筋シート」の実用化など、大阪発の再生医療や創薬開発の産業化を後押し。
- 「**大阪府介護生産性向上支援センター**」を開設（令和6年）。
  介護ロボット貸出やICT導入相談を一括で行い、現場の負担軽減と質の向上を推進。
- 子育て世帯支援へ、今年度から「**府営住宅の入居資格緩和**」を実現。
  子どもの対象を就学前から18歳以下に拡大し、収入基準上限も月25.9万円へ引上げ。


▲未来医療国際拠点「中之島クロス」

「府民の安全安心を守る」― 防災・防犯の強化



大阪防災アプリ

- 地震・津波や気象、避難情報を知らせるスマホ向け「**大阪防災アプリ**」の提供を実現。
  河川監視カメラのライブ映像閲覧なども可能で、災害時の迅速な避難を支援。
- 性犯罪・性暴力被害者の支援拠点「**ウィズユーおおさか**」を開設。
  被害の約半数を占める若い世代がひとりで悩まず相談できるよう、年内の「**SNS相談**」導入を実現。
- 特殊詐欺被害を防ぐ「**自動通話録音機**」等の設置補助（市町村支援）を推進。
  防犯情報を届ける府警公式「**安まちアプリ**」の導入も実現し、府民の安全を後押し。

ウィズユーおおさか

ウィズユーおおさかの
ホームページ

「大阪の未来を拓く」― 教育環境の充実

- 不登校生徒の学びの選択肢として、府立初の学びの多様化学校「**窓明（そうめい）分校**」を開設。
  府立高校での居場所づくりも拡充し、生徒に寄り添う教育環境を推進。
- 府立学校の「**トイレ洋式化・体育館等の空調設置**」を一貫して推進。
  あわせて「**給食費無償化**」も実現し、快適な教育環境と家庭の負担軽減を両立。
- 障がいの有無に関わらず安心して学べるよう、府立支援学校での「**看護師同乗による医療的ケア児の通学支援**」を実現。家族の送迎負担軽減と特別支援教育の充実を推進。


▲野崎高校の居場所「カフェココアル」